

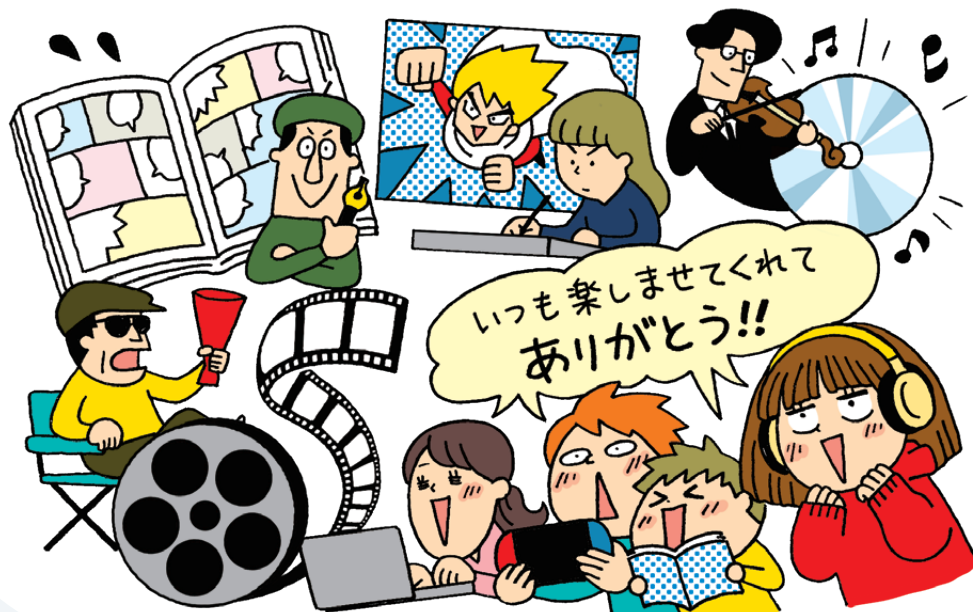
3

知らないで利用しても 罪になるの？

アップロードだけでなく、 海賊版と知りつつダウンロードしたら違法

最近^{さいきん}は、漫画^{まんが}やアニメ^{アニメ}、音楽^{おんがく}、映画^{えいが}などの作品^{さくひん}を、インターネット^{じょう}上で楽しむことのできるサービスが増えています。それらのサービスは、著作^{ちやくさく}者・著作権^{ちやくさくけん}者の許可^{きょか}を得て、対価^{たいか}を払った上で提供^{ていきよう}されています。一方^{いつぱう}、正当^{せいとう}な権利^{けんり}である著作権^{ちやくさくけん}を持つ著作^{ちやくさく}者・著作権^{ちやくさくけん}者に、無断^{むだん}で複製^{ふくせい}や公開^{こうかい}をする違法行為^{いほうこうゐ}も増えています。

具体的にどんな行為^{こうゐ}が違法^{いほう}なのでしょう。アップロードに関しては、権利^{けんり}者の許諾^{きょだく}なく、インターネット^{じょう}上に漫画^{まんが}や小説^{しょうせつ}、動画^{どうが}などを上げることはすべてにおいて違法^{いほう}です。また、ダウンロードに関しては、インターネット^{じょう}上に違法^{いほう}にアップロードされたものだと知りながらダウンロード^{ダウンロード}をすることは違法^{いほう}で、これを「違法ダウンロード」と呼びます。以前の法律^{いぜんのほうりつ}では、その



たまたまアクセスしたサイトが違法^{いほう}なものだった場合^{ばあい}、そこでの視聴^{しちゆう}は罪^{つみ}になるのでしょうか。また、違法^{いほう}だと知っているか知らないかで、違い^{ちが}はあるのでしょうか。

範囲^{はんい}は音楽^{おんがく}と映画^{えいが}に限定^{げんてい}されていましたが、2020年^{ねん}に著作権法^{ちやくさくけんぽう}が改正^{かいせい}され、規制対象^{きぎたいしやう}が、漫画^{まんが}、雑誌^{ざっし}、小説^{しょうせつ}、写真^{しゃしん}、論文^{ろんぶん}、コンピュータ・プログラム^{ちようさくぶつ}など、すべての著作物^{ちやくさくぶつ}に拡大^{かくだい}されました。

では、違法^{いほう}にアップロードされたものとは知らずに利用^{りよう}したら、どうなるのでしょうか。実は海賊版^{かいぞくばん}サイトに上げられている作品^{さくひん}を、そのサイト^{じょう}上で視聴^{しちゆう}したり、違法^{いほう}なデータと知らずにダウンロード^{ダウンロード}をしたりすること自体^{じたい}は、違法^{いほう}ではありません。ただし、道徳^{どうとく}的には問題^{もんだい}です。海賊版^{かいぞくばん}を利用^{りよう}するということは、正当^{せいとう}な権利^{けんり}を持つひと^{ひと}に対価^{たいか}を払われず、海賊版^{かいぞくばん}サイトに関わる犯罪者^{はんざいしや}に手を貸すことにつながるからです。罪^{つみ}に問われないからといって、行^{おこな}っていいことではないということは理解^{りかい}しておきましょう。



ポイント

海賊版^{かいぞくばん}と知らずにダウンロード^{ダウンロード}したり、サイト^{じょう}上で視聴^{しちゆう}したりするだけでは違法^{いほう}にはならない。ただし、問題^{もんだい}のある行為^{こうゐ}だということを覚えておこう。

4

海賊版による被害はどれくらいあるの？

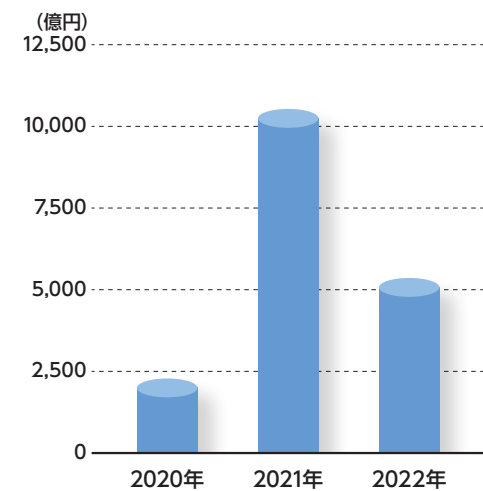
この3年間で被害額は5倍になったという報告も

現在、海賊版による被害はどのくらいあると思いますか？ 出版社や電子書籍の流通事業者、IT・通信事業者、著者・著作権者などで構成された一般社団法人ABJによる試算を紹介しましょう。

2022年に海賊版サイトによって、漫画作品がタダで読まれたことによる被害は、紙の本が定価で同じだけ売れたとすると約5,069億円分になります。過去最悪だった2021年の約1兆19億円より半分以上となっていますが、2020年の約2,100億円に比べると、2倍以上となっています。

出版物の海賊版による被害は2022年に減少傾向が見られましたが、11ページのグラフのとおり、映像、出版、音楽、ゲームをあわせた被害額は、3年間でおよそ5倍になったという推計結果も出ています。映画、出版、アニメ、放送番組、音楽、ゲームなどの日本作品の海外展開と、海賊版対策を目的に設立された一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)によると、2022年のオンライン上の海賊版被害総額は、約1兆9,500億円～2兆2,020億円と推測されています。これは2019年の同様の推定額の約5倍。東京スカイツリーの建築費が約400億円なので、50

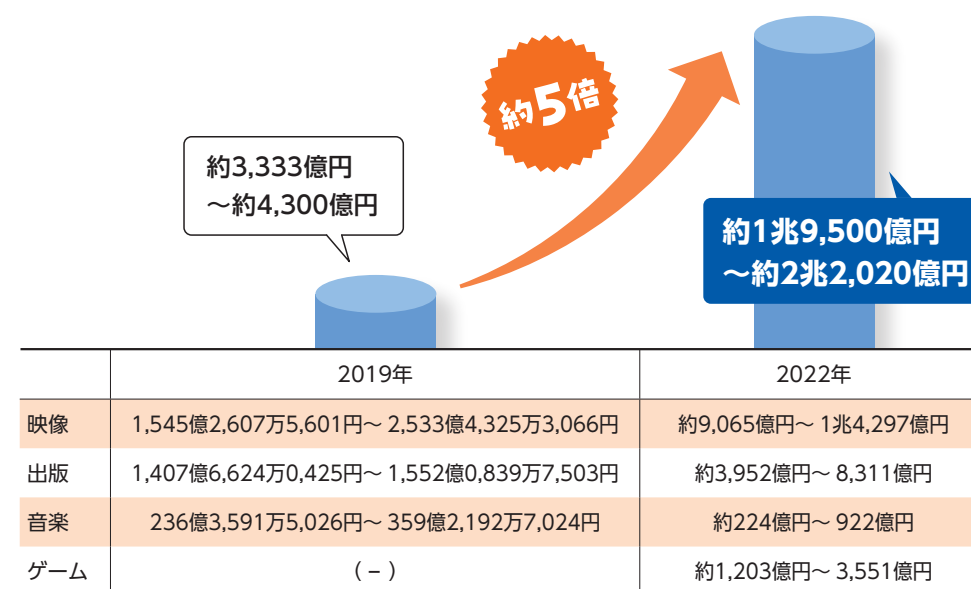
海賊版サイトで、タダ読みされた漫画作品の被害額



海賊版は作品を生み出す、さまざまな分野に深刻な被害を与えています。ここでは、年々増大している、インターネット上の被害の実態を紹介します。

棟分の建築費になるわけです。さまざまな対策がされているにもかかわらず、海賊版による被害がまだまだ増えていることがわかります。

映像、出版、音楽、ゲームの海賊版による被害額



上の金額は、映像、出版、音楽、ゲームの4つの分野について、北米、中南米、欧州、アジア太平洋、中東・アフリカの世界5地域で市場規模と成長率の算出・推計を行い、日本、米国、フランス、中国、ブラジル、ベトナムへの消費者アンケートから、各作品の単価や無料でなくとも購入していた割合などに基づいて、被害額を算出したもの(各ジャンルの有識者による妥当性の検証も行われた)。

出典：一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA) 2022年度推計結果

ポイント

映像、出版、音楽、ゲームの4分野で、1年間におよそ2兆円のインターネット上の海賊版被害が推測されるという現状。1つの作品を無料で視聴することが、どれだけ大きな被害につながるか、知っておこう。

8

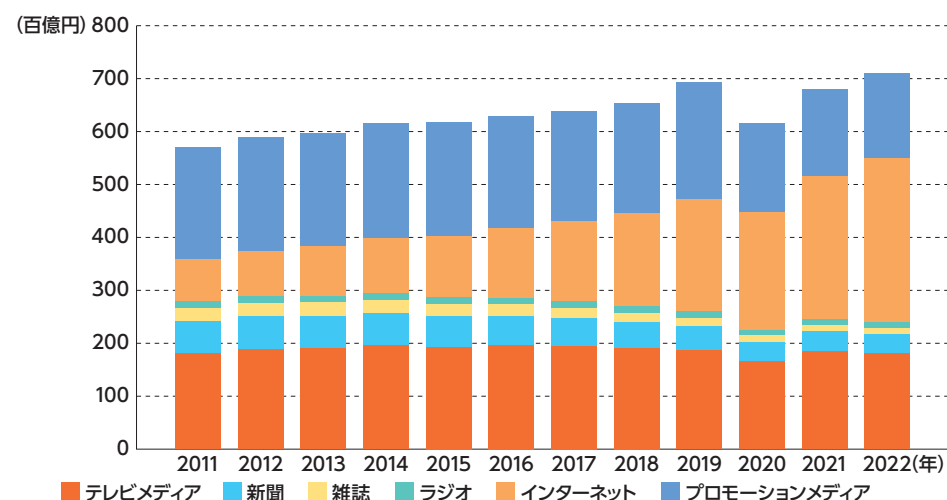
海賊版はどうやって、利益を得ているの？

海賊版サイトの おもな収入は広告料

スマホやパソコンを開き、インターネット上のさまざまなサイトを見ていると、広告が掲載されていないページはほとんどありません。それほど、「インターネット広告」は私たちの生活と密着したものになりました。下のグラフは、広告会社である電通が調査し、総務省が発表した「日本の媒体別広告費の推移」です。ひと昔前に広告の主流だったテレビ、新聞、雑誌、ラジオの4媒体の合計広告費を、2021年以降、インターネット広告費が上回るようになりました。

これらのインターネット広告は画像や動画で表示され、広告の表示回数や広告がクリック(タップ)された回数などに応じて、サイトの運営者に収益が入る仕組みになっています。広告は、はじめからサイトの一部分に貼りつけら

日本の媒体別広告費の推移



出典：電通「Knowledge & Data 2022年 日本の広告費」をもとに作成

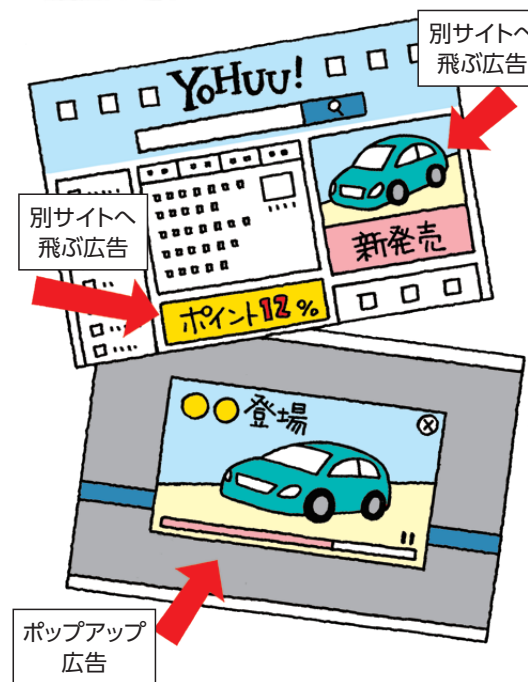
無料で作品を提供する海賊版サイトは、どこから資金を得ているのでしょうか。海賊版サイトの収入の仕組みに迫ります。

れているものや、アクセスするとウィンドウが自動的に開いて表示されるもの(ポップアップ広告)、別のサイトに飛んで表示されるものなど、形式はさまざまです。

海賊版サイトのおもな収入源は、この広告料によるものです。海賊版サイトは人気の作品で人を呼びよせ、広告をたくさんの人に見せることで運営者にお金をもたらします。

また、ダウンロード型の海賊版サイトの場合、無料会員の場合は低速ダウンロードしかできないけれど、有料会員になれば高速ダウンロードができるというような仕組みのものもあります。コミック全話をダウンロードするのに1時間以上かかるところを10秒ですでできるとしたら……と会員になってしまう人もいるかもしれませんね。でも、こうしたサイトで支払われたお金も何割かは海賊版サイト運営者の懐に入ってしまうのです。

インターネット上の広告のイ列



ポイント

海賊版サイトは広告収入によって運営されていることが多いため、アクセスするだけで海賊版サイト運営者のお金儲けの一端を担うことになる。海賊版と思われるサイトへのアクセスはやめよう。